

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 若者をつくる高梁川流域における多様なコミュニティ形成事業

グループ名 : 備中「聞き書き」+ (プラス) 実行委員会

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と備中「聞き書き」+ (プラス) 実行委員会（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	地域団体の持つノウハウを活かして高梁川流域における次世代の地域活動の担い手を育成する。
----	---

(2) 短期アウトカム（令和元年度事業の成果）

目標	n 対 n コミュニケーションの手法について、備中聞き書き実行委員会が単独で高校生に指導できるようになる。
指標	ノウハウの出し手による評価と受け手の自己評価がともに 60 点以上

(3) アウトプット（令和元年度事業の直接の結果）

目標	備中聞き書き実行委員会が中心となり、n 対 n コミュニケーションの場づくりと進行をする、笠岡会場の「地域内成果報告会」を開催する。
指標	高梁川プレゼンターレの支援:10%以内

目標	高梁川プレゼンターレが作成した n 対 n コミュニケーションのマニュアルについて、備中聞き書き実行委員会と高校生が研修を受ける。
指標	研修の実施回数:現状 0 回→実施後 3 回

2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

（1）長期アウトカム（長期の成果）

目標	若者が自発的に地域団体や多様なバックグラウンドを持つ主体を巻き込んで場づくりを行い、地域課題解決のために活動する仕組みができている状態を目指す。
----	--

（2）短期アウトカム（令和元年度事業の成果）

目標	「地域内成果報告会」で場づくりや進行の補助を経験した高校生が、n 対 n コミュニケーションの手法を身に着けたいと考えるようになる。
指標	アンケートで「場づくりを実践したい」と答えた子どもの数： 現状 0 人→事業実施後 5 人

（3）アウトプット（令和元年度事業の直接の結果）

目標	高校生が「地域内成果報告会」で進行の補助役を担う。
指標	補助役となった高校生：現状 0 人→実施後 5 人

令和元年 6 月 28 日

甲 倉敷市西中新田 640 番地
倉敷市
倉敷市長 伊 東 香 織



乙 倉敷市中央 2 丁目 13-3 住吉町の家分福
備中「聞き書き」＋（アラス）実行委員会
一般社団法人高梁川プレゼンターレ
代表理事 坂 入 上 博 史

